

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会

開催要項

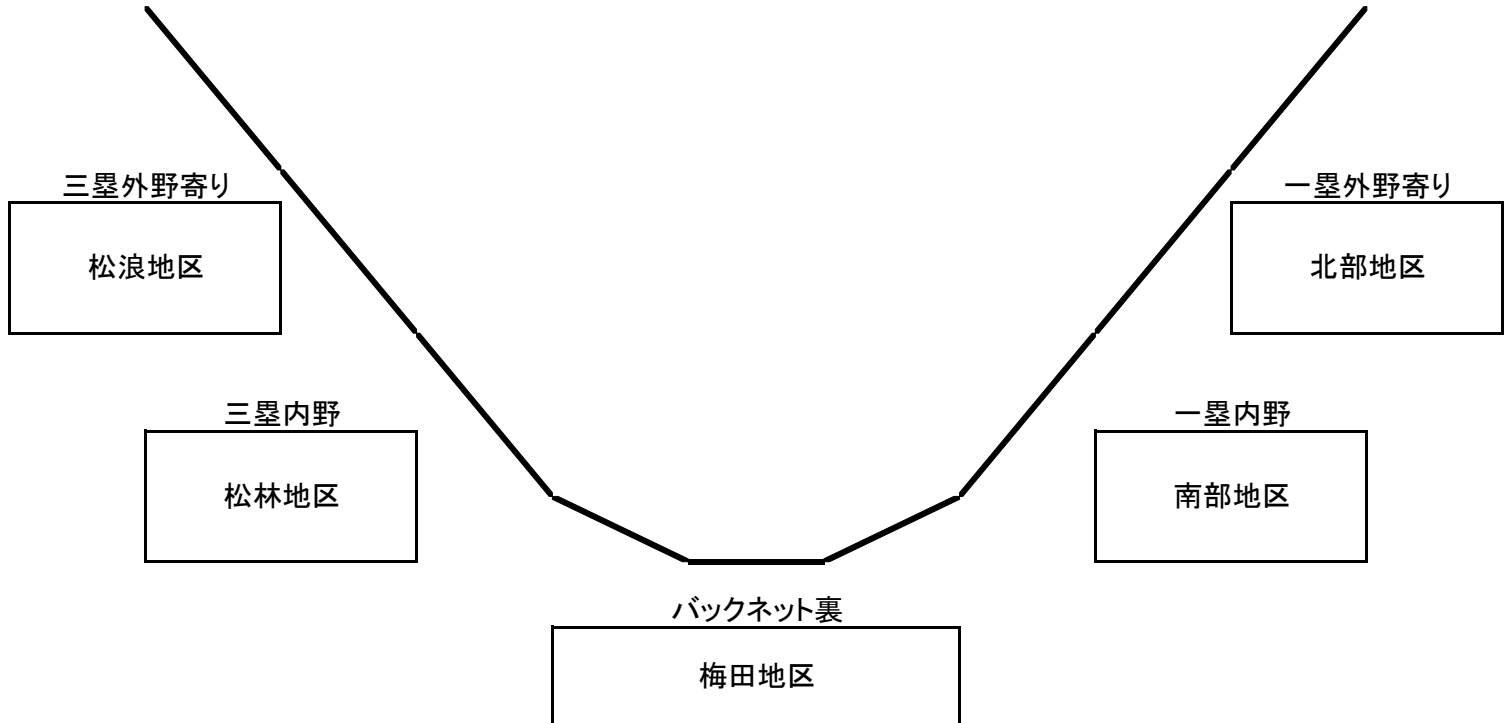
1. 趣 旨 日頃、野球を愛好する多くの子供達に競技の機会を設け、スポーツを通じて健康で明朗な心身の育成を図るとともに、生涯スポーツの推進を図ることを目的とする。
2. 主 催 茅ヶ崎市、シラトリスポーツ
3. 主 管 特別非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会
4. 後 援 シラトリスポーツ
5. 会 期 9月2日(土)から11月26日までの土・日・祭日
6. 開 始 式 9月2日(土)8:30～
7. 大会会場 公園野球場、芹沢スポーツ広場、他
8. 競技資格 ① 1部は小学校3年生以上6年生以下。
② 2部は小学校2年生以上5年生以下。バッテリー以外であれば6年生は3名まで登録可。
③ 3部(トスボール)は3年生以下。(4年生一部可)
④ 代表者(成人)が必ず引率して参加できるチームであること。
⑤ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
9. チーム編成 代表者(成人)1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名(監督の背番号は30、コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用)選手25名以内(小学校3年生以上6年生以下の児童)でベンチ入りは、10名以上とする。
主将の背番号は10、その他の選手は10、30、28、29を除く0～99までとする。
10. 種 別 第1部・第2部・第3部
11. 参加料 無料
12. 大会要領 (1) 第1部、第2部は、トーナメント方式で行う。
日程に余裕があれば敗者交流戦を考えています。
(2) 2023年野球規則で行う。
13. 参加申込み **8月 13日(土) 18時まで**
申込用紙は茅ヶ崎野球協会ホームページに記載
14. 申 込 茅ヶ崎野球協会PCメール cba89890467@tw.drive-net.jp Excelのままで送ってください
15. 審判講習会 日時 未定 (後日、連絡します) 本年度開催せず 各地区で開催下さい。
16. 組合せ抽選 **日時 8月 27日(日) 代理抽選**
17. 監督主将会議 **代理抽選の為、開催いたしません。**
18. 注意事項 大会要項を守ること。

閉会式終了後 ホームラン競争・スピードガンコンテストを行う予定です。

*登録用紙は茅ヶ崎野球協会ホームページに掲載しています。
<http://w01.drive-net.jp/~x017104442/top.htm>(茅ヶ崎野球協会ホームページ)

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会
開 会 式

父母スタンド配置





防災マニュアル（少年野球編）

特定非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会

平成23年4月3日作成

平成23年4月20日編集

NPO法人茅ヶ崎野球協会は、地震・津波に関する防災体制を下記の通り整える。

1. 緊急地震警報が発令された場合

- ①試合会場への移動中または帰宅中は、自己責任において安全を確保すること。自動車、バイクの場合は周辺の交通事情を勘案しルールに従い対応する。即座に路肩に自動車を停止し、エンジンを切り、キーをつけたまま車外に退避。この場合、より広い場所を選び電柱などの倒壊や落下物に十分な注意を払うこと。徒歩の場合は、周囲の状況を観察しより安全な場所を選択し避難する。
- ②既に試合会場に到着している場合は、会場の防災責任者の指示に従い、安全を確保すること。
- ③試合中は即座に試合を停止し、観客を含めた全ての人をグラウンド中央に避難させること。
 - ア)茅ヶ崎公園野球場の場合はグラウンド中央へ避難する。
 - イ)芹沢広場の場合は一旦グラウンド中央へ退避した後、安全を確認しながらテニスコートへ避難する。
 - ウ)小学校の場合は小学校の防災マニュアルに準ずる。
- ④警報が解除され、情報によって安全を確認したら試合の続行・中止を施設管理者と協議の上、会場責任者が決定する。
- ⑤自動車での走行中は必ずラジオを点けておくこと。
- ⑥自動車での来場は乗り合わせで1チーム最少台数が望ましい。また各車にはクラブ(チーム)名及び連絡先(代表者及び当該車両の責任者)住所・電話番号を記載したカード(A4判)を常備しておくこと。

2. 地震が発生した場合

- ①緊急地震警報に引き続き地震が発生した場合は、上記1-①～③の状態で待機する。
- ②緊急地震警報の発令なく突発的に地震が発生した場合も、上記と同様に対応する。
- ③地震情報を把握し、震度5以上の場合及び揺れの激しい場合は大会を中止し、安全を確認した上で各チームを帰宅させる。

この場合、余震及び津波発生情報に十分な配慮が必要である。
- ④茅ヶ崎公園野球場の場合は、引き続き津波警報に注意し、地震の沈静化を見ながらいち早く高台方面に避難する。
- ⑤試合または大会が中止された後の帰路途上については、引率者の自己責任において安全を確保するよう注意を促す。
- ⑥各チーム責任者は帰宅後、協会防災責任者(会場責任者)に状況報告をする。

3. 協会の防災体制

- ①当日の会場責任者(理事)は上記のマニュアルに従い、迅速かつ的確な判断で安全を確保しなければならない。
- ②会場責任者は会長代理権者であり当該会場における最高責任者であるからその責務は重大であることを認識しなければならない。
- ③各会場責任者は、協会防災責任者に報告する。
- ④非常事態に備えて携帯可能なラジオ(DC電源)及びハンドマイクを常備する。
- ⑤協会の防災組織及び緊急連絡網は別紙(会場責任者持参)の通りとする。

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会

第 1 部 開 催 要 項

- 主催 茅ヶ崎市・スポーピアシラトリ
主管 特定非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会
開始式 9月2日(土)8:30～
試合日時 9月2日(土)から11月26日までの土・日・祭日
試合開始 午前9時(会場により変更の場合あり)
会場 茅ヶ崎公園球場 芹沢スポーツ広場、市内小学校他
競技資格 ① 協会に登録しているチームの小学校3年生以上6年生以下の児童。
② 代表者(成人)が必ず引率して参加できるチームであること。
③ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
チーム編成 代表者(成人)1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名(監督の背番号は30、
コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用)選手25名以内(小学校3年生以上6年生以下の児童)
でベンチ入りは、10名以上とする。 給水援助者2名父母(ビブス着用のこと)
主将の背番号は10、その他の選手は10,28,29,30を除く0～99までとする。

試合方法

- (1) 試合は、トーナメントとする。
- (2) 試合は、6回戦とする。
- (3) 試合時間は80分とし、制限時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。
(注)決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
- (4) コールドゲームは、3回以降、10点差、4回以降7点差以上の時に適用する。
(3回もしくは5回を終了するか、3回表もしくは5回表終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はコールドゲーム成立とみなす)
- (5) 雷、暗黒、降雨、光化学スモック、日没等で5回以前に中止になった場合、翌実施日の第一試合に先立って特別継続試合行う。決勝戦は再試合とする。
但し、5回を終了するか、5回表を終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はゲーム成立とみなす。
決勝戦は、時間制限を適用しない。ただし、同点の場合は、引き続き特別延長戦を行う。
- (6) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。
前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者とする、一死満塁の状態にして行う。(代打・代走は自由)なお、決しない場合は抽選とする。
- (7) 使用ボールは、公認J号球とする。
- (8) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチとも着用のこと。チームで7個以上用意のこと。
- (9) 金属製バットは、公認(JSBBマーク入)のものに限る。
- (10) 捕手用マスク及びヘルメットは、危険防止のためにも公認のものを着用すること。
- (11) プロテクター・レガース・スロットル・ファールカップは危険防止のために着用すること。
- (12) スパイクは、金具のついたのは使用できない。
- (13) 1試合かつ1日の1投手の投球数は、70球とする。ただし4年生以下は60球以内とする。又、当該打者の終了までの続投は認める。
- (14) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
- (15) 木製のバットを2本以上、用意することが好ましい。
(雷が鳴った時、落雷を避けるために使用する場合がある。)
- (16) 公認規則5・10(d)〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
- (17) 申告故意四球を採用する。(監督のより申告)その場合の球数はカウントしない。
- (18) その他は、野球規則(最新版)で行う。
- (19) 3位決定戦は実施いたしません。

注意事項

- (1) 試合開始時間及び会場は、後日通知します。ホームページに掲載する。会場責任担当チームは主催者が指名して通知します。
- (2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (4) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (5) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (6) グラウンド(校庭)以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (7) 試合開始予定時間30分前には集合のこと。会場に到着したらすぐにメンバー表(指定)を本部に提出すること。(試合開始が早まる可能性があるので30分前集合には、こだわらない。)
- (8) 登録の変更は、チームの最初の試合まで。(ただし、チーム間の変更は認めない。)その後は変更できない。
- (9) メンバー表には、先発の9名及び、交代要員を記入する。出場申込書によって登録の有無を確認する。登録選手の10名以上がベンチ入りすること。(当日休みの選手を含め記入すること)

各試合の審判について

原則として、球審は公認審判員が行い、塁審については事前に登録されたチーム審判員が行う。チーム審判の服装は白/青ワイシャツ・ポロシャツ、紺ズボン、黒又は、紺の靴下、黒い靴をお願いします。

抽選方法について

- (1) 抽選は、その試合の審判員が行う。
- (2) 最終イニングに守備していた選手に、抽選権があり、投手よりシート順にクジを引く。
- (3) 主将同志がジャンケンをして、勝ったチームに、抽選順の選択権を与える。
- (4) 交互にクジを引き、ただちに回収して○印の多いチームを勝とする。その際、両チームの監督も○・×の数を確認する。

連盟取り決め事項

- (1) ファールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側ですみやかに処理する。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
- (3) 投手の準備投球は原則として、試合開始の表裏、救援投手は捕手を相手に7球以内(時間にすれば1分以内)とし、次回からは3球以内とする。
- (4) 攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレイヤーは素早くベンチを離れて、駆け足で守備に向かうこと。とくにバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチからでること。
- (5) 投手は返球を受けたら直ちに投手板について投球姿勢をとらなければならない。なお、打者が打撃姿勢をとっているのに、投手がボールをもってマウンド上で無駄な動きをしたり、投手板についてもなかなか投球しなかった場合は注意を与える。
- (6) 投手の塁への送球で無用と思われる塁への送球が度を過ぎれば注意を与える。
- (7) 捕手は、できるだけ捕手席から投手に返球すること。
- (8) 捕手が、投手のところへ行くときは、往復とも駆け足とする。
- (9) 次打者は、前打者の打撃が完了したら、すみやかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (10) 打者は、打者席を外してサインをみることを禁止する。
- (11) 打者は、「タイム」を要求してロージンをつけに行くことは許されない。
- (12) ファールボールが打たれたときは、走者は駆け足で戻ってもとの塁に触れること。
- (13) 内野手が投手のところへ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレーの開始を遅らせてはならない。
- (14) 監督は、ピンチの時以外は、投手を交代する時を除いて、投手のところへ行くことは許されない。なお、選手をベンチに呼び寄せることを禁止する。
- (15) ベンチから、数多く無用と思われるサインを送ることは許されない。
- (16) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所にいける回数を、3回以内とする。(タイブレーク1回につき1回)
- (17) その他の事項については、(公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携(最新版)少年野球に関する事項を読まれること。不明点は各地区の育成員に確認すること

各小学校使用上の注意事項

1. チームの駐車台数につきましてはHPでお知らせしますが、指定台数以上の駐車は禁止します。
特に応援の方にも周知下さるようお願いいたします。
2. 自転車は、カギをかけ整理しておいて下さい。
3. グラウンド(校庭)内の、鉄棒・サッカーゴール・固定遊具等に乗ったり、登ったりしないで下さい。
4. チーム内で、出たゴミは、必ず持ち帰って下さい。
5. 午前8時30分以前の練習時には、声をださないようお願いします。
6. 試合終了後は、両チームでグラウンド整備をして下さい。
7. *試合進行状況等により変更がありますのでご了承下さい。

事務連絡

1. 大会雨天時の連絡については
9月2日以降は、午前7時までに大会開催の有無を決定しますので、午前7時以降に野球協会情報電話85—8989で確認して下さい。
チームの方1名が確認するようにして下さい。
* 明らかに天気がよく試合ができるような場合は電話をしないこと。
2. 野球場周辺は公園ですので、バットスイング・キャッチボールは禁止になっております。
チームの選手・指導者の皆様に徹底してください。

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
 兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
 兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会

1部組合せ

新町グリーンファイターズ	1				
親和ファイヤーズ	2		⑦		
リトルアポロズ	3			⑮	
矢畑リトルイーグルス	4	①			
鶴が台スターズ少年野球部	5		⑧		⑲
鶴嶺ストロングボーイズ	6				
松林ベースボールクラブ	7		⑨		
鶴が台フェニックス	8	②		⑯	
ムーンスターズ	9		③		
仲町フレンズ	10			⑩	
若草野球部	11				㉑
今宿少年野球部	12				
湘南浜見平ベースボールクラブ	13		⑪		
平和レグルス	14	④			⑰
松浪ジャガース	15		⑤		
梅田スポーツ少年団	16			⑫	
東海岸さざなみ	17				⑳
中海岸ホークス	18				
リトルビクトリーズ白	19		⑬		
香川グリーンスターズ	20	⑥			⑱
リトルビクトリーズ赤	21				
湘南ベンケイ	22		⑭		

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会

第 2 部 開 催 要 項

主催	茅ヶ崎市、シラトリ
主管	特定非営利活動法人 茅ヶ崎野球協会
開会式	1部と同時
試合日時	9月2日(土)から11月26日までの土・日・祭日
試合開始	午前9時(会場により変更の場合あり)
会場	茅ヶ崎公園球場、芹沢スポーツ広場、市内小学校他
競技資格	① 協会に登録しているチームの小学校2年生以上5年生以下。ただし、バッテリー以外であれば6年生は3名まで登録可。 ② 代表者(成人)が必ず引率して参加できるチームであること。 ③ 参加者全員がスポーツ傷害保険に加入していること。
チーム編	代表者(成人)1名・監督1名・コーチ2名・スコアラー1名・マネージャー1名(監督の背番号は30、コーチの背番号は29・28でユニフォーム着用)選手25名以内でベンチ入りは、 <u>10名以上</u> とする。 給水援助者2名父母(ビブス着用のこと) 主将の背番号は10、その他の選手は10、28、29、30を除く0～99までとする。

試合方法

- (1) 試合は、すべてトーナメントとする。
- (2) 試合は5回戦とする。
- (3) 試合時間は70分とし、制限時間を経過した場合は新しいイニングに入らない。
(注)決められた時間が経過したら、回数に関係なく正式試合となる。
- (4) コールドゲームは、3回以降、7点差以上の時に適用する。
- (5) 雷、暗黒、降雨、光化学スモッグ、その他の事情で試合続行不可能になった場合、**3回終了**以前ならば特別継続試合とする。
但し、3回を終了するか、3回表を終了した時点で後攻側の得点が先行側の得点より多い時はゲーム成立とみなす。
- (6) 延長戦は行わず、1イニングのタイブレーク方式を行う。正位打者が打撃を行い、得点を争う。前回の最終打者を一塁走者とし、二塁・三塁の走者は順次前の打者とする、**一死満塁の状態**にして行う。(代打・代走は自由)なお、決しない場合は抽選とする。
- (7) 使用ボールは、公認J号球とする。
- (8) ヘルメットは必ず、打者、次打者、走者、走塁コーチとも着用のこと。チームで7個以上用意のこと。
- (9) 金属製バットは、公認(JSBBマーク入)のものに限る。
- (10) 捕手用マスク及びヘルメットは、危険防止のためにも公認のものを着用すること。
- (11) プロテクター・レガース・スロットル・ファールカップは危険防止のために着用すること。
- (12) スパイクは、金具のついたのは使用できない。
- (13) 1試合かつ1日の1投手の投球数は、70球とする。ただし4年生以下は60球以内とする。又、当該打者の終了までの続投は認める。
- (14) 抗議ができるのは、監督と当該プレイヤーのみとする。
- (15) 木製のバットを2本以上、用意することが好ましい。
(雷が鳴った時、落雷を避けるために使用する場合がある。)
- (16) 公認規則5・10(d)〔原注〕「同一イニングでは、投手が一度ある守備位置についたら、再び投手となる以外他の守備位置に移ることはできないし、投手に戻ってから、投手以外の守備位置に移ることもできない。投手以外の負傷退場した野手に代って出場したプレイヤーは5球を限度としてウォームアップが許される。」の前段は採用しない。したがって、投手の守備位置の交代は自由である。
- (17) 申告故意四球を採用する。(監督のより申告)その場合の球数はカウントしない。
- (18) 1イニングの最大得点を5点として、攻守交代となる。
- (19) その他は、野球規則(最新版)で行う。

注意事項

- (1) 試合開始時間及び会場は、後日通知します。ホームページに掲載する。会場責任担当チームは主催者が指名して通知します。
- (2) ベンチは抽選番号の若いチームを一塁側とする。
- (3) 試合中のヤジ等については、指導者が十分注意すること。
- (4) 走塁コーチは登録選手が行う。
- (5) 試合前のシートノック及びバッティング練習等の時間は特別には設けない。
- (6) グラウンド(校庭)以外でのキャッチボール、バッティング等の練習は禁止する。
- (7) 試合開始予定時間30分前には集合のこと。会場に到着したらすぐにメンバー表(指定)を本部に提出すること。(試合開始が早まる可能性があるので30分前集合には、こだわらない。)
- (8) 登録の変更は、チームの最初の試合まで。(ただし、チーム間の変更は認めない。)その後は**変更できない**。
- (9) メンバー表には、先発の9名及び、交代要員を記入する。出場申込書によって登録の有無を確認する。登録選手の10名以上がベンチ入りすること。(当日休みの選手を含め記入すること)

各試合の審判について

原則として、球審は公認審判員が行い、塁審については事前に登録されたチーム審判員が行う。チーム審判の服装は白/青ワイシャツ・ポロシャツ、紺ズボン、黒又は、紺の靴下、黒い靴でお願いします。

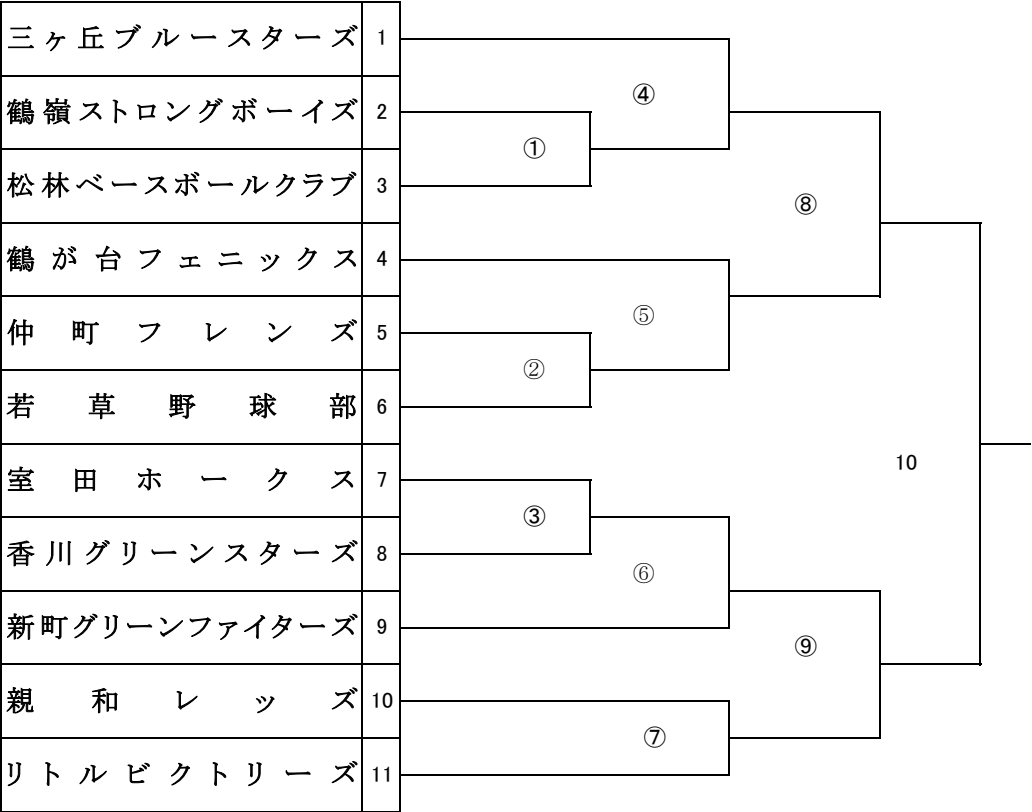
抽選方法について

- (1) 抽選は、その試合の審判員が行う。
- (2) 最終イニングに守備していた選手に、抽選権があり、投手よりシート順にクジを引く。
- (3) 主将同志がジャンケンをして、勝ったチームに、抽選順の選択権を与える。
- (4) 交互にクジを引き、ただちに回収して○印の多いチームを勝とする。その際、両チームの監督も○・×の数を確認する。

連盟取り決め事項

- (1) ファールボールが打たれた場合は、一塁側のものは一塁側ベンチ、三塁側のものは三塁側ベンチ、本塁後方のものは攻撃側ですみやかに処理する。
- (2) 攻守交代の時には、ボールを必ず投手板近くに置いて交代すること。
- (3) 投手の準備投球は原則として、試合開始の表裏、救援投手は捕手を相手に7球以内(時間にすれば1分以内)とし、次回からは3球以内とする。
- (4) 攻撃側は、第三アウトが成立したら、プレイヤーは素早くベンチを離れて、駆け足で守備に向かうこと。とくにバッテリーは、準備投球があるから、率先してベンチからでること。
- (5) 投手は返球を受けたら直ちに投手板について投球姿勢をとらなければならない。なお、打者が打撃姿勢をとっているのに、投手がボールをもってマウンド上で無駄な動きをしたり、投手板についてもなかなか投球しなかった場合は注意を与える。
- (6) 投手の塁への送球で無用と思われる塁への送球が度を過ぎれば注意を与える。
- (7) 捕手は、できるだけ捕手席から投手に返球すること。
- (8) 捕手が、投手のところへ行くときは、往復とも駆け足とする。
- (9) 次打者は、前打者の打撃が完了したら、すみやかに打者席に入って打撃姿勢をとること。
- (10) 打者は、打者席を外してサインをみることを禁止する。
- (11) 打者は、「タイム」を要求してロージンを付けに行くことは許されない。
- (12) ファールボールが打たれたときは、走者は駆け足で戻ってもとの塁に触れること。
- (13) 内野手が投手のところへ集まるときは、往復を駆け足で行い、このためにプレーの開始を遅らせてはならない。
- (14) 監督は、ピンチの時以外は、投手を交代する時を除いて、投手のところへ行くことは許されない。なお、選手をベンチに呼び寄せることを禁止する。
- (15) ベンチから、数多く無用と思われるサインを送ることは許されない。
- (16) 捕手を含む内野手が、1試合に投手の所にいける回数を、3回以内とする。(タイブレーク1回につき1回)
- (17) その他の事項については、(公財)全日本軟式野球連盟発行の競技者必携(最新版)少年野球に関する事項を読まれること。不明点は各地区の育成員に確認すること

令和5年度茅ヶ崎市総合体育大会野球競技少年の部
 兼 第35回茅ヶ崎市秋季選抜少年野球大会
 兼 第3回スポーピアシラトリ杯争奪学童軟式野球大会
 第2部組合せ



第3部「トスボール交流戦」実施要項

2023.08.01

1. チーム編成・選手参加資格

引率者(成人)最少3名(ベンチ・審判・記録担当)、選手は原則3年生以下、9名以上で編成する
ただしメンバー不足の場合4年生を3名まで参加可能としますので3年以下6名でも参加可能です
3年以下が6名未満の場合は 合同チーム編成での 参加をお勧めします
選手が18名を超える場合は、分割で2チーム参加をお勧めします(出場機会確保しましょう)
ユニフォーム着用・スパイク使用規定は適用しません。各自運動のできる格好で可です。
初心者・体験中の子も参加させてください(但し、安全確保・保険等はチーム責任で対応願います)

2. 試合形式・用具

1チームは2試合の交流戦。原則 相手を変更しての連続2試合とします
トスマシン利用でトスボール方式に準じます。 **使用球はJ号(規格変更を考慮)とする**
1試合は 3イニング表裏完全完了 (途中スコア・勝敗に関係なし)
リエントリー制を導入いたします。 対象はスターティングメンバーに限る

3. 守備:

*9名で行う *捕手は規定のキャッチャーマスク、プロテクター、レガースを着用する
*守備者はグローブ必須とする

4. 打撃:

*1イニング9名が打撃する、同一人が同一イニングで複数回打撃することはできない
*打者、次打者、走者、コーチはヘルメットを着用すること。
*バントを禁止する
*3球以内にフェアボールを打てなかった場合はアウトとする
*打球がトスマシンに触れた時はファールとする
*本塁前にファールゾーンを設け(4.5mのサークル)打球が止まった時はファールとする
*バットは個人のものを使います(統一ではありません)

5. 走塁:

*盗塁は無し、離塁は打撃後とする。(打撃まで触塁していること)
*3死達成で走者は塁からはぶく
*1塁へのスライディングは禁止、2・3・本塁はその限りではない
*走者はヘルメット着用必須とする

6. ゲーム進行

<ボールデッド>

*ピッチャープレート中心に半径1・5mのサークルを設けボールデッド判定基準とする
*無死および1死・2死達成の時点では 守備者が所定のサークル内でボール保持した時ボールデッドとする
*3死達成では、その時点でボールデッドとなる(サークルへの返球は無用)
*最終打者(9人目)は 2死の状況でプレイする

<その他>

試合中 審判が危険行為とみなす時(バットをほうるなど)は退場させることがあります
試合するチームで審判・記録を担当する、詳細要領は本部担当の指示にしたがう

審判員:1~2名/チーム 主審1名 塁審1~3名

記録員:1名/チーム

8. 留意事項

入場はライト側大扉、退場はレフト側大扉よりお願いします。
公園球場を確保する予定。外野芝生に2面もしくは3面作成します
応援父母も芝生内入場可能ですが、入場時の履物は運動靴など、ご配慮ください
駐車場は国道側を使用、先着での利用ですが、試合時間に合せ入退場ご協力ください
トイレは球場外側をご利用をお願いします。
移動中および会場での待機時含め 子供たちの安全に十分にご配慮ください

以上